要望調査票作成用エクセルシートの利用にあたって

１　本エクセルについて

本エクセルは、労働負担軽減経営体が別記様式第１－１「酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）要望調査票」を効率よく作成できるよう、提供するものです。

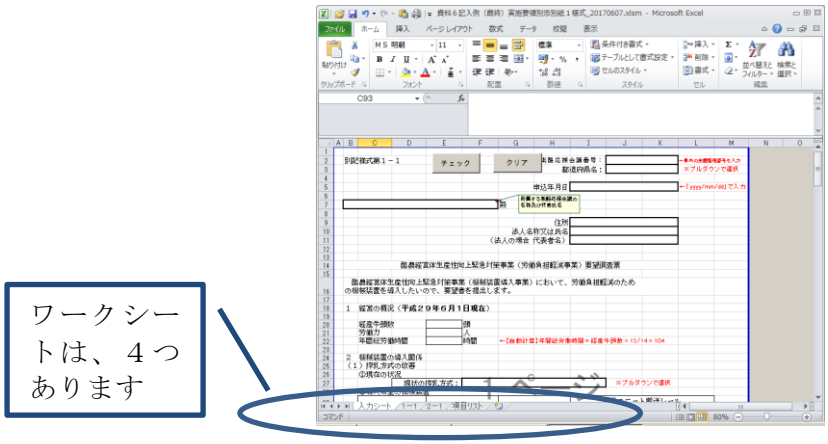
マクロ機能を用いて計算式を埋め込んでありますので、必要項目を入力すれば、実施要領別紙１の別添「費用対効果分析」に基づく、「削減労働時間」や「費用対効果の分析結果」が自動で計算されます。

労働負担軽減経営体ごとに、ファイル名を変更して、ご利用ください。

２　ワークシートの構成について

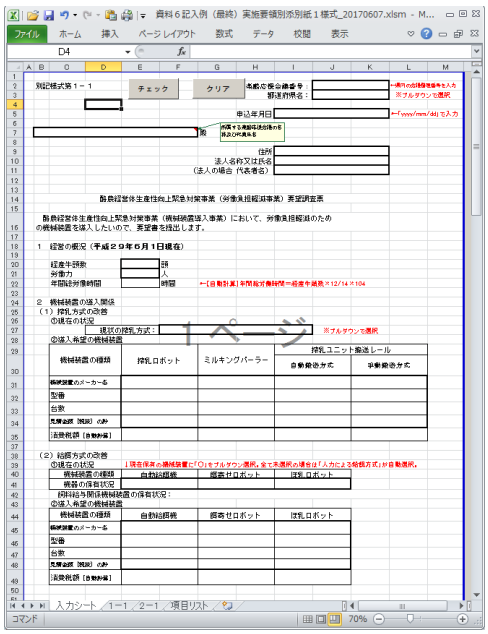
本エクセルには４つのシートがあります。それぞれの役割は以下のとおりです。

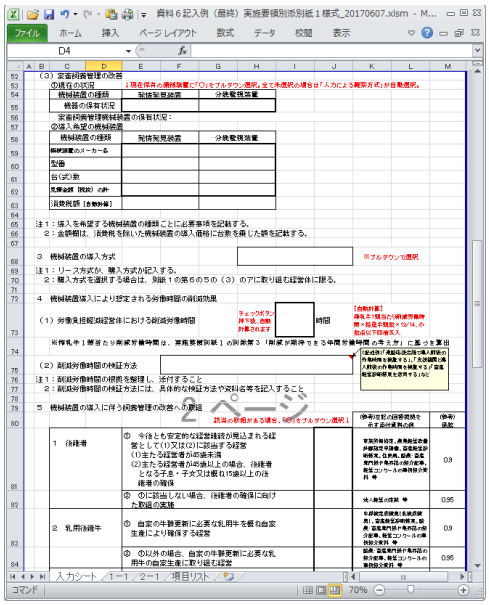
シート名	使用の目的	主な使用者
入力シート	○別記様式第１－１「酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）要望調査票」を作成するための、入力画面です。 ○ここで入力された内容は、「１－１」シートに自動反映されます。	労働負担軽減経営体
１－１	○「入力シート」で入力完了後、プリントアウトし、労働負担軽減経営体の代表が押印すれば、提出書類になります。	労働負担軽減経営体
２－１	○入力した内容を、楽酪応援会議がとりまとめて提出する「別記様式第１号」や「別記様式第２－１号」のデータ並びに変換するためのシートです。 ○楽酪応援会議において、農家ごとに当該シートのデータを行コピーし、「別記様式第１号」や「別記様式第２－１号」に貼り付けしていただければ、書類作成（入力）が簡素化されます。	楽酪応援会議
項目リスト	使用しません（管理用です）	

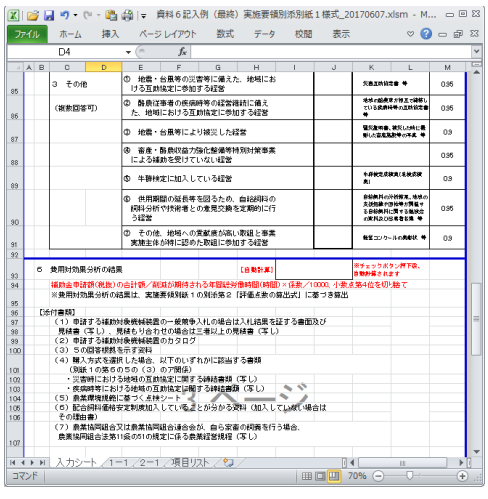


3　利用手順

（１）入力シート







≪利用方法≫

①　太枠が入力欄です。必要事項を入力して下さい。
※入力欄の横に、赤字で注意事項を記載しています。

②　入力しましたら、最後に チェック ボタンを押して下さい。
※「削減労働時間」や「費用対効果の分析結果」が自動で計算されます。

③　保存して完了です。
※ファイル名は、「rakuraku1-1_県番号(半角 2 桁)＋県内の楽酪応援会議コード(半角 2 桁)＋農家名(全角で経営主氏名又は法人名称).xlsm」と付けて下さい。
　なお、県内応援会議コードは県内でルール化をお願いします。
（例）石川県－楽酪応援会議番号１番－農家名（加賀畜産）の場合のファイル名
　　「rakuraku1-1_1701 加賀畜産」

≪留意点≫

「２　機械装置の導入関係」
a. 機械装置の種類ごとに入力していただきます。
b. 金額は、円単位で入力してください。
c. 労働力削減のために導入する主要な機械装置と付属機器等で見積会社が異なる場合は、以下により入力してください。
　メーカー名、型式：複数連記（間に「、」を入力）
　台数：労働力削減のために導入する主要な機械装置の台数
　合計金額（税抜）の計：主要な機械装置と付属機器のそれぞれの見積書の合計金額
d. 「合計金額（税抜）の計」欄で、6000 万円以上の金額入力はできない仕様にしております。

「５　機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組」
　ここで○を付した場合、費用対効果の分析に係る係数になりますが、回答根拠を示す資料の添付が要望調査票提出時に必須となりますので留意して下さい。

（２）「１－１」シート

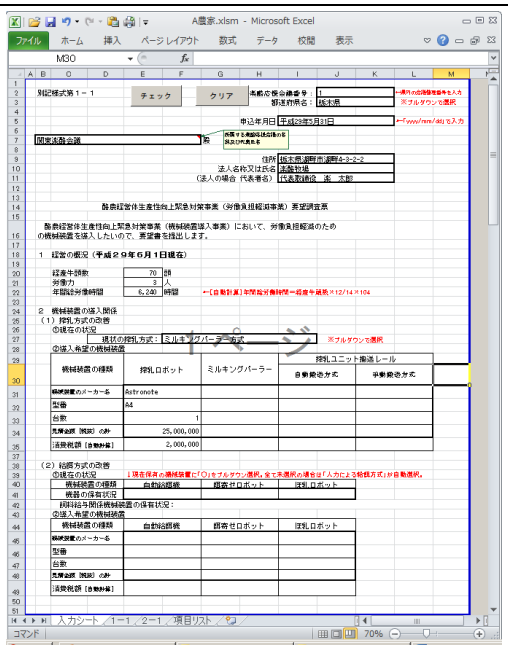
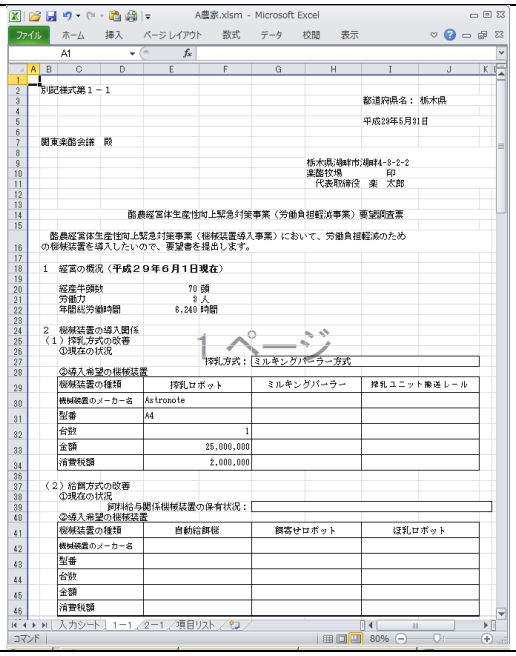
≪利用方法≫

① 入力シートで入力された内容が、「１－１」シートに自動反映されます。

② 「入力シート」で入力完了後、プリントアウトし、労働負担軽減経営体の代表が押印すれば、提出書類になります。

≪留意点≫

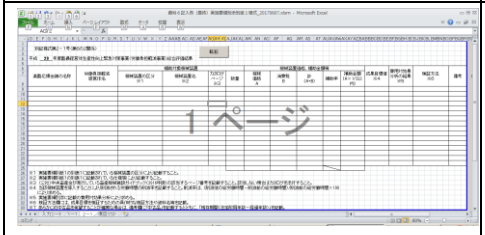
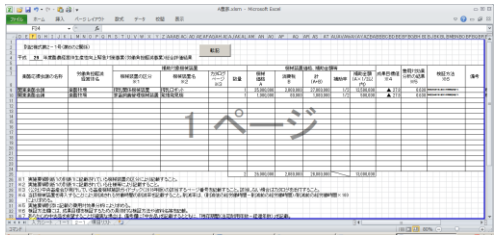
加筆・修正がある場合は、「入力シート」で加筆・修正を行い、再度、チェックボタンを押してください。

「入力シート」		「１－１」シート
	⇒自動反映	

（３）「２－１」シート

本シートは、入力した内容を、楽酪応援会議がとりまとめて提出する「別記様式第１号」や「別記様式第２－１号」のデータ並びに変換するためのシートです。

楽酪応援会議が、「別記様式第１号」や「別記様式第２－１号」を作成する際に、農家ごとに作成された当該シートのデータを「行コピーして、貼り付け」していただければ、書類作成（入力）が簡素化されます。

通常の状態（空白）		転記後の状態（入力内容が反映）
	転記 ボタンを押すと、「入力シート」で入力した内容が転記されます	

4　入力参考例

A事例

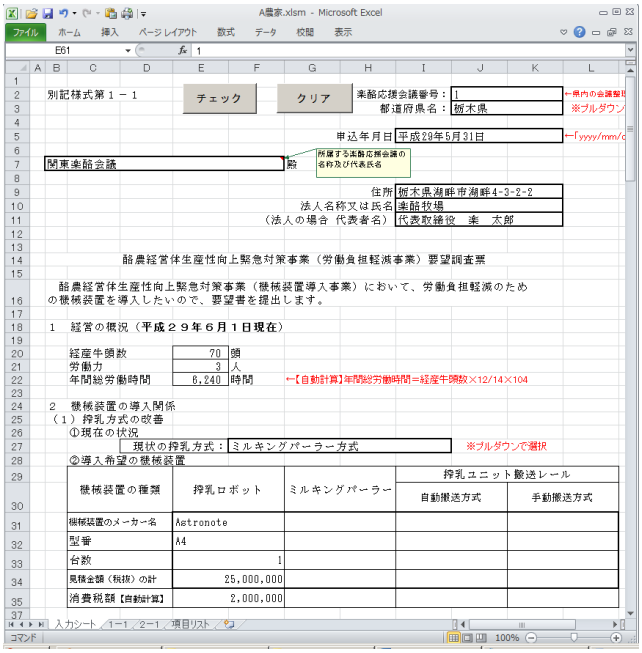
現状の経営		補助対象機械装置導入後の経営	
経産牛	70 頭	経産牛	70 頭
搾乳牛	60 頭	搾乳牛	60 頭
○搾乳方式:ミルキングパーラー		◎搾乳方式:搾乳ロボット	
○生産管理:人力による観察方式		◎生産管理:発情発見装置	
◎後継者有り			
◎畜産クラスター事業の活用無し			

補助金申請額
13,000,000円
（事業費）
搾乳ロボット
25,000,000円
発情発見装置
1,000,000円

削減労働時間　1740 時間
＝((34時間－7時間)＋(14時間－12時間))×60頭

評価点数　0.638
＝13,000,000円÷［((34時間－7時間)＋(14時間－12時間))×60頭）×0.9×0.95÷10000

＜入力シート＞



別記様式第１－１　チェック　クリア　酪農応援会議番号：1　都道府県名：栃木県
申込年月日 平成29年5月31日
関東酪農会議 殿
住所 栃木県湖畔市湖畔4-3-2-2
法人名称又は氏名 酪農牧場
（法人の場合 代表者名） 代表取締役　楽　太郎

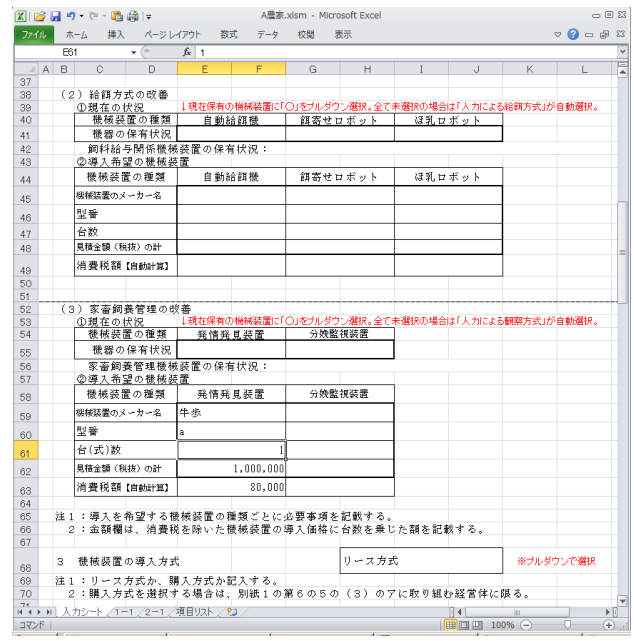
酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）要望調査票

酪農経営体生産性向上緊急対策事業（機械装置導入事業）において、労働負担軽減のための機械装置を導入したいので、要望書を提出します。

1　経営の概況（平成２９年６月１日現在）
経産牛頭数 70 頭
労働力 3 人
年間総労働時間 6,240 時間　←【自動計算】年間総労働時間＝経産牛頭数×12/14×104

2　機械装置の導入関係
（１）搾乳方式の改善
①現在の状況
現状の搾乳方式：ミルキングパーラー方式　※プルダウンで選択
②導入希望の機械装置

機械装置の種類	搾乳ロボット	ミルキングパーラー	搾乳ユニット搬送レール 自動搬送方式	搾乳ユニット搬送レール 手動搬送方式
機械装置のメーカー名	Astronote			
型番	A4			
台数	1			
見積金額（税抜）の計	25,000,000			
消費税額【自動計算】	2,000,000			



（２）給餌方式の改善
①現在の状況　↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による給餌方式」が自動選択。

機械装置の種類	自動給餌機	餌寄せロボット	ほ乳ロボット
機器の保有状況			

飼料給与関係機械装置の保有状況：
②導入希望の機械装置

機械装置の種類	自動給餌機	餌寄せロボット	ほ乳ロボット
機械装置のメーカー名			
型番			
台数			
見積金額（税抜）の計			
消費税額【自動計算】			

（３）家畜飼養管理の改善
①現在の状況　↓現在保有の機械装置に「○」をプルダウン選択。全て未選択の場合は「人力による観察方式」が自動選択。

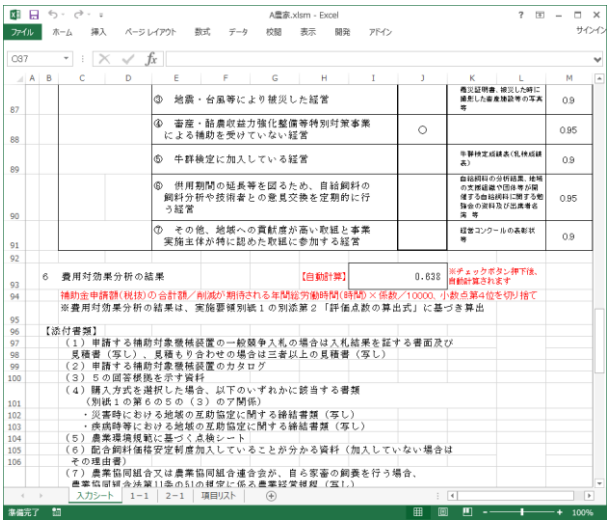
機械装置の種類	発情発見装置	分娩監視装置
機器の保有状況		

家畜飼養管理機械装置の保有状況：
②導入希望の機械装置

機械装置の種類	発情発見装置	分娩監視装置
機械装置のメーカー名	牛歩	
型番	a	
台(式)数	1	
見積金額（税抜）の計	1,000,000	
消費税額【自動計算】	80,000	

注１：導入を希望する機械装置の種類ごとに必要事項を記載する。
２：金額欄は、消費税を除いた機械装置の導入価格に台数を乗じた額を記載する。

３　機械装置の導入方式　リース方式　※プルダウンで選択
注１：リース方式か、購入方式か記入する。
２：購入方式を選択する場合は、別紙１の第６の５の（３）のアに取り組む経営体に限る。

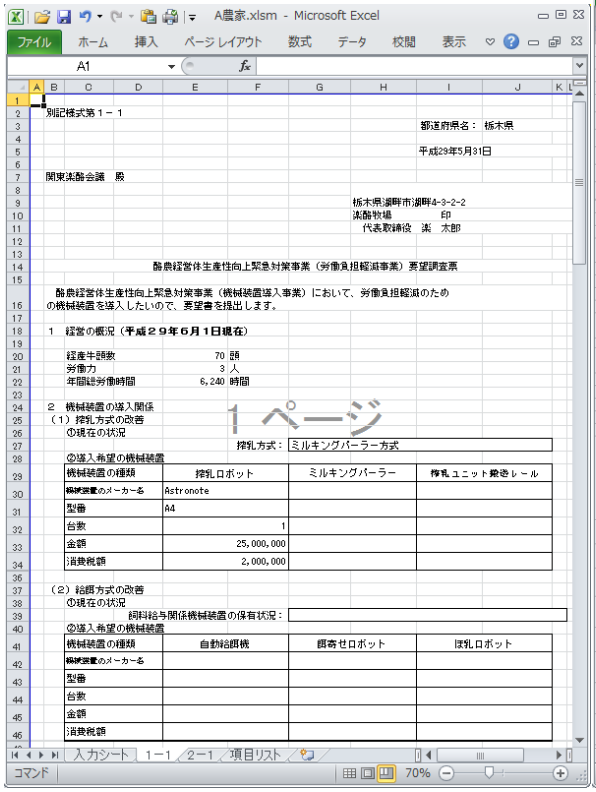


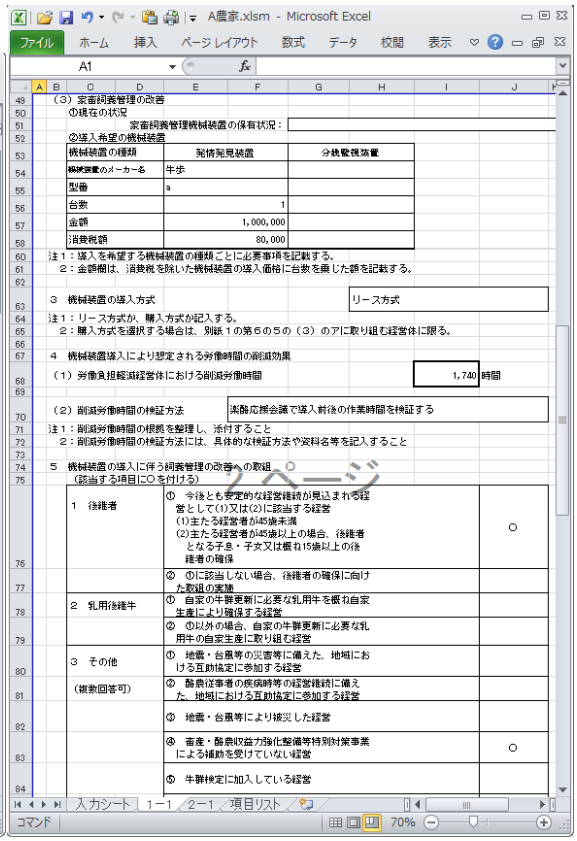
＜２－１＞楽酪応援会議取りまとめ用（転記後）

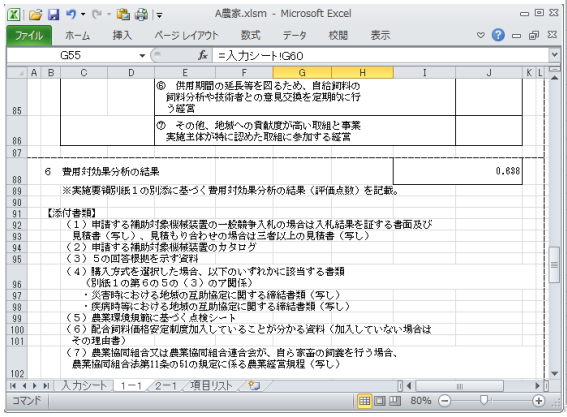
楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置				機械装置価格、補助金額等							
		機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)	成果目標値 ※4	費用対効果分析の結果 ※5	検証方法 ※6	備考
関東楽酪会議	楽酪牧場	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		1	25,000,000	2,000,000	27,000,000	1/2	12,500,000	▲ 27.8	0.638	[illegible]	
関東楽酪会議	楽酪牧場	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	1,000,000	80,000	1,080,000	1/2	500,000	▲ 27.8	0.638	[illegible]	
					2	26,000,000	2,080,000	28,080,000		13,000,000				

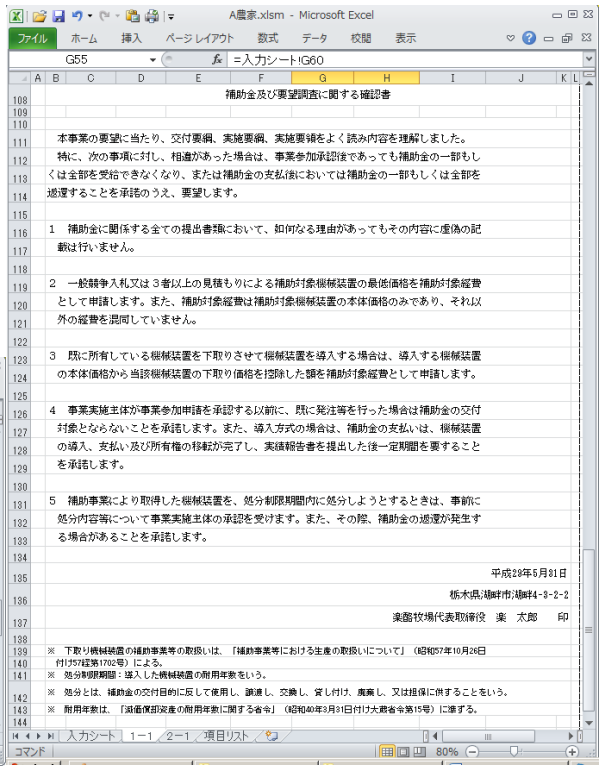
※１　実施要領別紙1の別表1に記載されている機械装置の区分により記載すること。
※２　実施要領別紙1の別表1に記載されている仕様等により記載すること。
※３（公社）中央畜産会が発行している畜産機械施設ガイドブック(2016年版)の該当するページ番号を記載すること。該当しない場合はカタログを添付すること。
※４　当該機械装置を導入することにより削減される労働時間の削減率を記載すること。削減率は、(削減後の総労働時間－削減前の総労働時間)/削減前の総労働時間×100により求める。
※５　実施要領別添に記載の費用対効果分析により求める。
※６　検証方法欄には、成果目標を検証するための具体的な検証方法や資料名等を記載。
※７　あらかじめ中古品を希望することが確実な場合は、備考欄に「中古品」を記載するとともに、「残存期間(法定耐用年数－経過年数)」を記載。

＜１－１＞出力用


A農家.xlsm - Microsoft Excel
別記様式第１－１
都道府県名：栃木県
平成29年5月31日
関東酪農会議　殿
栃木県湖畔市湖畔4-3-2-2
酪農牧場　印
代表取締役　楽　太郎
酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）要望調査票
酪農経営体生産性向上緊急対策事業（機械装置導入事業）において、労働負担軽減のための機械装置を導入したいので、要望書を提出します。
１　経営の概況（平成２９年６月１日現在）
経産牛頭数　70 頭
労働力　3 人
年間総労働時間　6,240 時間
２　機械装置の導入関係
（１）搾乳方式の改善
①現在の状況
搾乳方式：ミルキングパーラー方式
②導入希望の機械装置
機械装置の種類　搾乳ロボット　ミルキングパーラー　搾乳ユニット搬送レール
機械装置のメーカー名　Astronote
型番　A4
台数　1
金額　25,000,000
消費税額　2,000,000
（２）給餌方式の改善
①現在の状況
飼料給与関係機械装置の保有状況：
②導入希望の機械装置
機械装置の種類　自動給餌機　餌寄せロボット　搾乳ロボット
機械装置のメーカー名
型番
台数
金額
消費税額
１ページ


A農家.xlsm - Microsoft Excel
（３）家畜飼養管理の改善
①現在の状況
家畜飼養管理機械装置の保有状況：
②導入希望の機械装置
機械装置の種類　発情発見装置　分娩監視装置
機械装置のメーカー名　牛歩
型番　a
台数　1
金額　1,000,000
消費税額　80,000
注１：導入を希望する機械装置の種類ごとに必要事項を記載する。
２：金額欄は、消費税を除いた機械装置の導入価格に台数を乗じた額を記載する。
３　機械装置の導入方式　リース方式
注１：リース方式か、購入方式が記入する。
２：購入方式を選択する場合は、別紙１の第６の５の（３）のアに取り組む経営体に限る。
４　機械装置導入により想定される労働時間の削減効果
（１）労働負担軽減経営体における削減労働時間　1,740 時間
（２）削減労働時間の検証方法　酪農応援会議で導入前後の作業時間を検証する
注１：削減労働時間の根拠を整理し、添付すること
２：削減労働時間の検証方法には、具体的な検証方法や資料名等を記入すること
５　機械装置の導入に伴う飼養管理の改善への取組
（該当する項目に○を付ける）
１　後継者
①　今後とも安定的な経営継続が見込まれる経営として(1)又は(2)に該当する経営
(1)主たる経営者が45歳未満
(2)主たる経営者が45歳以上の場合、後継者となる子息・子女又は概ね15歳以上の後継者の確保　○
②　①に該当しない場合、後継者の確保に向けた取組の実施
２　乳用後継牛
①　自家の牛群更新に必要な乳用牛を概ね自家生産により確保する経営
②　①以外の場合、自家の牛群更新に必要な乳用牛の自家生産に取り組む経営
３　その他（複数回答可）
①　地震・台風等の災害等に備えた、地域における互助協定に参加する経営
②　酪農従事者の疾病時等の経営継続に備えた、地域における互助協定に参加する経営
③　地震・台風等により被災した経営
④　畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業による補助を受けていない経営　○
⑤　牛群検定に加入している経営
２ページ


A農家.xlsm - Microsoft Excel
⑥　供用期間の延長等を図るため、自給飼料の飼料分析や技術者との意見交換を定期的に行う経営
⑦　その他、地域への貢献度が高い取組と事業実施主体が特に認めた取組に参加する経営
６　費用対効果分析の結果　0.838
※実施要綱別紙１の別添に基づく費用対効果分析の結果（評価点数）を記載。
【添付書類】
（１）申請する補助対象機械装置の一般競争入札の場合は入札結果を証する書面及び見積書（写し）、見積もり合わせの場合は三者以上の見積書（写し）
（２）申請する補助対象機械装置のカタログ
（３）５の回答根拠を示す資料
（４）購入方式を選択した場合、以下のいずれかに該当する書類
（別紙１の第６の５の（３）のア関係）
・災害時における地域の互助協定に関する締結書類（写し）
・疾病時等における地域の互助協定に関する締結書類（写し）
（５）農業環境規範に基づく点検シート
（６）配合飼料価格安定制度加入していることが分かる資料（加入していない場合はその理由書）
（７）農業協同組合又は農業協同組合連合会が、自ら家畜の飼養を行う場合、農業協同組合法第11条の51の規定に係る農業経営規程（写し）


A農家.xlsm - Microsoft Excel
補助金及び要望調査に関する確認書
本事業の要望に当たり、交付要綱、実施要綱、実施要領をよく読み内容を理解しました。
特に、次の事項に対し、相違があった場合は、事業参加承認後であっても補助金の一部もしくは全部を受給できなくなり、または補助金の支払後においては補助金の一部もしくは全部を返還することを承諾のうえ、要望します。
１　補助金に関係する全ての提出書類において、如何なる理由があってもその内容に虚偽の記載は行いません。
２　一般競争入札又は３者以上の見積もりによる補助対象機械装置の最低価格を補助対象経費として申請します。また、補助対象経費は補助対象機械装置の本体価格のみであり、それ以外の経費を混同していません。
３　既に所有している機械装置を下取りさせて機械装置を導入する場合は、導入する機械装置の本体価格から当該機械装置の下取り価格を控除した額を補助対象経費として申請します。
４　事業実施主体が事業参加申請を承認する以前に、既に発注等を行った場合は補助金の交付対象とならないことを承諾します。また、導入方式の場合は、補助金の支払いは、機械装置の導入、支払い及び所有権の移転が完了し、実績報告書を提出した後一定期間を要することを承諾します。
５　補助事業により取得した機械装置を、処分制限期間内に処分しようとするときは、事前に処分内容等について事業実施主体の承認を受けます。また、その際、補助金の返還が発生する場合があることを承諾します。
平成28年5月31日
栃木県湖畔市湖畔4-3-2-2
楽酪牧場代表取締役　楽　太郎　印
※　下取り機械装置の補助事業等の取扱いは、「補助事業等における生産の取扱いについて」（昭和57年10月26日付け57経第1702号）による。
※　処分制限期間：導入した機械装置の耐用年数をいう。
※　処分とは、補助金の交付目的に反して使用し、譲渡し、交換し、貸し付け、廃棄し、又は担保に供することをいう。
※　耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数に関する省令」（昭和40年3月31日付け大蔵省令第15号）に準ずる。

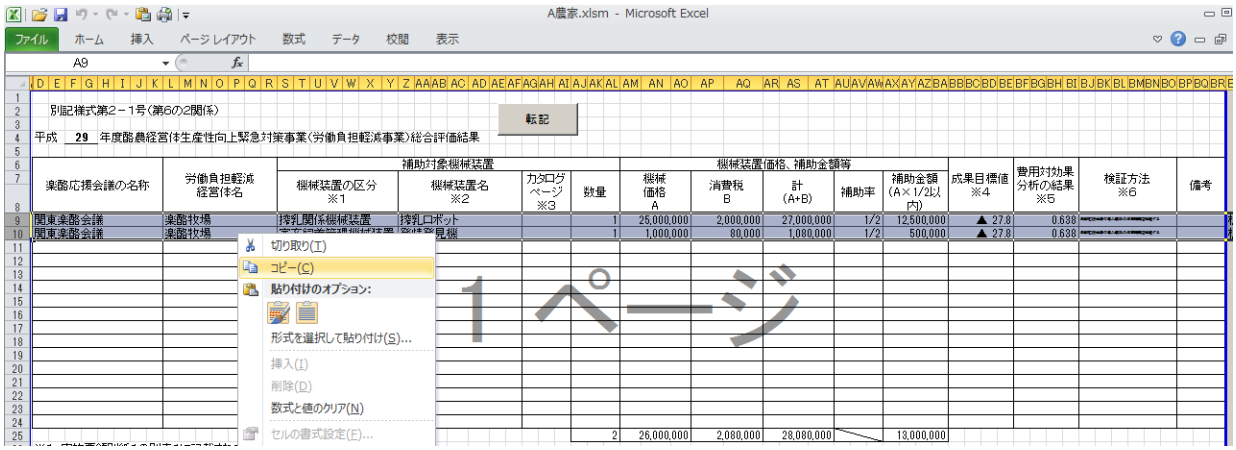
５　楽酪応援会議の提出物への貼付方法

楽酪応援会議が、要望とりまとめ及び実施計画承認申請を行う際の書類の一つに、「参加要望書（別記様式第１号）」と「総合評価結果（別記様式第２－１号）」がありますが、要望調査票作成用エクセルシートで作成した「２－１」シートを簡単に貼付すれば、作成が容易です。

以下にその手順を紹介します。

①　要望調査票作成用エクセルシートのシート「2-1」を開きます。

②　行選択して、コピーをします。



③　楽酪応援会議用要望とりまとめ及び実施計画承認申請書作成用シート
「youboukaigi.xlsx」を開きます。
（以下は、シート「１号」に貼り付けた場合のイメージです）

別記様式第1号（第5の1関係）

平成　　年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）参加要望書

楽酪応援会議の名称 （都道府県名）	（　　）

○　楽酪応援会議推進事業への参加の有無

楽酪応援会議推進事業への参加の有無	有　：　：	無　：　：
楽酪応援会議推進事業の取組内容	会議の開催	
	事業計画の策定	
	労働時間削減用機械装置の選定	
	事業成果の検討	
	先進地事例調査	
	労働時間削減に取り組む酪農家への指導	
	その他	

※　該当する項目の欄に○をする。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置				機械装置価格、補助金額等					成果目標値 ※4	費用対効果分析の結果 ※5	検証方法 ※6	備考
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)				
	関東酪農会議	酪農牧場	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		1	25,000,000	2,000,000	27,000,000	1/2	12,500,000	▲ 27.8	0.638	――――	
	関東酪農会議	酪農牧場	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	1,000,000	80,000	1,080,000	1/2	500,000	▲ 27.8	0.638	――――	
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
									0	1/2	0				
						合計	26,000,000	0	26,000,000		0				

※1　実施要領別紙1の別表1に記載されている機械装置の区分により記載すること。
※2　実施要領別紙1の別表1に記載されている仕様等により記載すること。
※3　（公社）中央畜産会が発行している畜産機械施設ガイドブック（2016年版）の該当するページ番号を記載すること。該当しない場合はカタログを添付すること。
※4　当該機械装置を導入することにより削減される労働時間の削減率を記載すること。削減率は、（削減後の総労働時間－削減前の総労働時間）/削減前の総労働時間×100
により求める。
※5　実施要領別紙に記載の費用対効果分析により求める。（計算式が入力してあります。右側の表に必要な数値を入力すると自動的に計算します。）
※6　検証方法欄には、成果目標を検証するための具体的な検証方法や資料名等を記載。
※7　あらかじめ中古品を希望することが確実な場合は、備考欄に「中古品」を記載するとともに、「残存期間（法定耐用年数－経過年数）」を記載。

④　他の労働負担軽減経営体の貼付作業を繰り返し実施し、最後に順位を付けます。

別記様式第1号（第5の1関係）

平成　　年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業（労働負担軽減事業）参加要望書

楽酪応援会議の名称 （都道府県名）	（　　）

○　楽酪応援会議推進事業への参加の有無

楽酪応援会議推進事業への参加の有無	有　：　：	無　：　：
楽酪応援会議推進事業の取組内容	会議の開催	
	事業計画の策定	
	労働時間削減用機械装置の選定	
	事業成果の検討	
	先進地事例調査	
	労働時間削減に取り組む酪農家への指導	
	その他	

※　該当する項目の欄に○をする。

○対象者の機械装置の要望取りまとめ

優先順位	楽酪応援会議の名称	労働負担軽減経営体名	補助対象機械装置				機械装置価格、補助金額等					成果目標値 ※4	費用対効果分析の結果 ※5	検証方法 ※6	備考
			機械装置の区分 ※1	機械装置名 ※2	カタログページ ※3	数量	機械価格 A	消費税 B	計 (A+B)	補助率	補助金額 (A×1/2以内)				
1	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル2	搾乳関係機械装置	搾乳ユニット搬送レール		1	18,000,000	1,440,000	19,440,000	1/2	9,000,000	▲ 43.2	0.366	酪農経営体の専門チームで検証する	
1	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル2	飼料給与関係機械装置	自動給餌機		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 43.2	0.366	酪農経営体の専門チームで検証する	
1	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル2	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	1,000,000	80,000	1,080,000	1/2	500,000	▲ 43.2	0.366	酪農経営体の専門チームで検証する	
2	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル7	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		1	25,000,000	2,000,000	27,000,000	1/2	12,500,000	▲ 39.4	0.457	酪農経営体の専門チームで検証する	
3	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル5	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		2	50,000,000	4,000,000	54,000,000	1/2	25,000,000	▲ 44.2	0.546	酪農経営体の専門チームで検証する	
3	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル5	飼料給与関係機械装置	哺乳ロボット		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 44.2	0.546	酪農経営体の専門チームで検証する	
3	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル5	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 44.2	0.546	酪農経営体の専門チームで検証する	
4	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル4	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		2	50,000,000	4,000,000	54,000,000	1/2	25,000,000	▲ 41.3	0.553	酪農経営体の専門チームで検証する	
4	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル4	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 41.3	0.553	酪農経営体の専門チームで検証する	
5	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル3	搾乳関係機械装置	搾乳ユニット搬送レール		1	18,000,000	1,440,000	19,440,000	1/2	9,000,000	▲ 43.2	0.566	酪農経営体の専門チームで検証する	
5	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル3	飼料給与関係機械装置	自動給餌機		1	15,000,000	1,200,000	16,200,000	1/2	7,500,000	▲ 43.2	0.566	酪農経営体の専門チームで検証する	
5	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル3	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	1,000,000	80,000	1,080,000	1/2	500,000	▲ 43.2	0.566	酪農経営体の専門チームで検証する	
6	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル6	搾乳関係機械装置	搾乳ロボット		2	50,000,000	4,000,000	54,000,000	1/2	25,000,000	▲ 42.3	0.611	酪農経営体の専門チームで検証する	
6	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル6	飼料給与関係機械装置	哺乳ロボット		1	10,000,000	800,000	10,800,000	1/2	5,000,000	▲ 42.3	0.611	酪農経営体の専門チームで検証する	
7	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル1	搾乳関係機械装置	搾乳ユニット搬送レール		1	18,000,000	1,440,000	19,440,000	1/2	9,000,000	▲ 13.4	0.823	酪農経営体の専門チームで検証する	
8	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル8	搾乳関係機械装置	ミルキングパーラー		1	30,000,000	2,400,000	32,400,000	1/2	15,000,000	▲ 18.2	0.850	酪農経営体の専門チームで検証する	
8	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル8	飼料給与関係機械装置	哺乳ロボット		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 18.2	0.850	酪農経営体の専門チームで検証する	
8	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル8	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 18.2	0.850	酪農経営体の専門チームで検証する	
9	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル9	搾乳関係機械装置	ミルキングパーラー		1	30,000,000	2,400,000	32,400,000	1/2	15,000,000	▲ 18.2	1.086	酪農経営体の専門チームで検証する	
9	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル9	飼料給与関係機械装置	哺乳ロボット		1	13,000,000	1,040,000	14,040,000	1/2	6,500,000	▲ 18.2	1.086	酪農経営体の専門チームで検証する	
9	東京都外神田地域酪農応援会議	アンドロメダ里栗モデル9	家畜飼養管理機械装置	発情発見機		1	3,000,000	240,000	3,240,000	1/2	1,500,000	▲ 18.2	1.086	酪農経営体の専門チームで検証する	
						合計	350,000,000	28000000	700,000,000		350,000,000				

※1　実施要領別紙1の別表1に記載されている機械装置の区分により記載すること。
※2　実施要領別紙1の別表1に記載されている仕様等により記載すること。
※3　（公社）中央畜産会が発行している畜産機械施設ガイドブック（2016年版）の該当するページ番号を記載すること。該当しない場合はカタログを添付すること。
※4　当該機械装置を導入することにより削減される労働時間の削減率を記載すること。削減率は、（削減後の総労働時間－削減前の総労働時間）/削減前の総労働時間×100
により求める。